

## ソウル大学校中央図書館古文獻資料室の実習報告書の の閲覧ガイド

三輪, 宗弘  
九州大学附属図書館付設記録資料館

<https://doi.org/10.15017/1832791>

---

出版情報 : 九州大学附属図書館研究開発室年報. 2016/2017, pp.12-18, 2017-08. 九州大学附属図書館  
バージョン :  
権利関係 : Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International

## 報告

# ソウル大学校中央図書館古文獻資料室の実習報告書の閲覧ガイド

三輪 宗弘<sup>†</sup>

### <抄録>

ソウル大学校中央図書館の古文獻資料室に所蔵されている実習報告書の閲覧するための案内(ガイド)である。同大学の図書館の検索画面で、漢字を入れれば、Call Number を調べることができる。資料申請書「Application for Reference Use」に必要事項を書き込んで実習報告書を請求すると、5冊まで一度に閲覧できる。金属鉱山や石炭鉱山での実習報告書には、採掘や生産などの技術に関する記述の他に、賃金や職制や地域の教育レベルなども記されている。

<キーワード> ソウル大学校中央図書館、古文獻資料室、実習報告書、賃金データ、労働移動、金属鉱山、石炭鉱山

## A User's Guide for Seoul National University Main Library

### — How to search Student Technical Intern Reports of metal mine and coal mine —

MIWA Munehiro

#### 1. ソウル大学校への行き方

地下鉄2号線のソウル大入口駅で下車する。ソウル大学校と書いた標識の方に歩き、3番出口のエスカレーターを上がれば、マクドナルドとバス乗り場が目に入ってくる。



写真1 マクドナルドとバス乗り場(反対側から撮影)

ソウル大学校キャンパスを左回りする5513(正門→法学部→大学本部前→農学部→工学部→)のバスで冠岳区キャンパスの中央図書館本館(Gwanak Campus Central Library Main Building 62)に向かえばいい。メイゲートから二つ目のバス停「大学本部前」

(Administrative Office Entrance)で下車する。韓国はタクシー料金が安いので、時間がない場合には同駅からタクシーでもいいだろう。ソウルの地下鉄とバスは「T Money」という交通カードをコンビニで購入して使えば、地下鉄やバスの乗車運賃などいちいち確認せずに飛び乗れ、しかも割引運賃となる。マクドナルドの前がバス乗り場である。バス乗り場の前にあるトンカツ料理「GASMONG 夢」には写真付きのメニューがあるが、分量も多く、美味しい。マクドナルドコーヒーの値段は1000ウォンで、座席のある2階は広く、トイレもある。ここでバスに乗り込む時間を調整しながら、簡単な朝飯を取ることもできる。バス5513に乗り、「大学本部前」で降りて、少しだけ戻り横断歩道の道路を渡り、直進すると、左側がソウル大学校本部(60番ビル)で、右側が学生会館63番ビル(Student Center)である。その真ん中を突き抜け、階段を上がると、左側の目の前に中央図書館本館と新館の大きなビル(62番ビル)がそびえ立っている。

<sup>†</sup> みわ むねひろ 九州大学附属図書館付設記録資料館 (〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1)  
E-mail: miwa.munehiro.535@m.kyushu-u.ac.jp



写真2 ソウル大学校本部(左)と中央図書館(正面)



写真4 バス 5511 (右回り) 行きに乗車

階段を上りきり, 手前の軽食 Café を正面にして左のスロープを上れば図書館の入口(写真5: 中央図書館入口 Gate 4)である. ここから入り入館手続を行う。

なお帰りのバスは右回りのバス 5511 (工学部→農学部→大学本部前→法学部→正門→) で地下鉄ソウル大入口駅に向かえばよい. ソウル大入口駅からの行きの5513 バスが満員であれば, 5511 のバスに乗って, 正門で下車して歩くという選択肢もある. ソウル大学校の構内はタクシーが拾える. 日本に比べるとタクシー料金は安く手ごろであるが, バスを乗りこなしてから, タクシーも駆使するのがいいだろう.



写真5 中央図書館入口 Gate4



写真1 バス 5513 (左回り) 帰りに乗車



写真2-1 キャンスマップと建物番号 (1)





写真 6-2 キャンパスマップと建物番号 (2)



写真 8 古文献資料室内

ここで身分証明書 ID としてパスポートを預け、S-Card (S カード) を受け取り、名前などを記帳して入館する。

ランチなどで館外に出るときには、この S カードを提示して出るというシステムである。

中央図書館 4 階の古文献資料室 (Rare Books & Archival Collections, 写真 7) へは閲覧カウンターを過ぎて右側の扉から階段を上がればよい。検索用の PC も並んでいる。



写真 7 古文献資料室 4階

古文献資料室へ 4 人掛けの机が 2 セットある。電源は机の横にある。入館時に受け取った S カードであるが、資料を受け取る時に、このカードを閲覧のフロントに預け、資料を受け取るというやり方である。ランチなどで外に出る際には、一旦資料をフロントに戻して、S カードを受け取らなければならない。簡明でわかりやすい。

ゲストは 4 時間インターネットが利用でき、詳細は For Visitors (Temporary ID for Guests) を読みたい。Guest ID は適当に数字を並べて設定すればよい。例えば 2017 年 4 月に訪問したので「20174」を使うなどすればよい。スタッフにネットを利用したいと申し出れば、利用のガイドをプリントアウトしてくれる。このガイドに For Visitors (Temporary ID for Guests) が掲載されている。ボールペンの使用は許されている。古文献資料室の開館時間は平日の午前 9 時から午後 6 時までである。トイレは奥にある。監視カメラは設置されている。

## 2. 資料請求の仕方

申請用紙はハングルと英語で書かれているが、一部ハングルしか記載されていない。写真 9 を眺めながら、以下の解説をお読みいただきたい。

「Application for Reference Use」(写真 9) の最上段には、Name 「三輪 宗弘」を書き、サインして、電話番号を書く。二段目には Affiliation つまり所属を書くのであるが、小生の場合には「九州大学」と書き、次の箇所には「教授」と書くことになる。E-mail はメールアドレスを書けばいい。次の Purpose of study であるが、漢字で「論文作成」とか「戦時動員」(Wartime mobilization) とか「第二次世界大戦」(World War II) などと書けばいいだろう。ハングルで書けなければ、英語で書いてもよい。次に具体的に請求する必要事項を記載しなければならないが、検索画面で請求番号 (Call Number) とタイトル (Title) を調べて書かなくてはならない。請求番号 (Call Number) とタイトルを書き込んで請求する。最下段には日付 (年月日)、名前を書き、そしてサインすればよい (写真 9: 資料請求用紙の書き方)。検索画面のあるパソコンは 1 台設置されているが、2 階の階段を上がる場所に 3 台検索用パソコンが置いてある。漢字をコピーして検索する方

法があるが、ハングルを入力できれば効率的である。

写真 9 資料請求用紙の書き方

請求番号の検索方法であるが、まずソウル大学校中央図書館の検索画面 <http://library.snu.ac.kr/> にアクセスし、下記の英語のページに行く。このページに行くためには国立国会図書館の「韓国所在植民地期日本語文献の調べ方」のページのリンクから飛ぶのが簡明である。

[https://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-asia-109.php](https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-asia-109.php)

<http://library.snu.ac.kr/?language=en>

このページ(英語版)の「Search All」もしくは「Book & Media」の検索欄に例えば「実習報告書」と漢字で入力すればヒットしてくる。表 1 から適当に抜き出して、例えば「大塚茂」「西国弘」「撫順炭鉱」とか入力して、ヒットしてくるか確認していただきたい。書誌情報には「Available at Main Library Rare Book 5」と書かれている。初めて行く場合は、請求番号(Call Number)のプリントアウトを持参して訪問するのがよいだろう。小生、初めて訪問した折にはこのやり方を知らなくて、苦労することになった。古文献資料室の司書は漢字が読めるし、英語も通じる。読者の参考までに実習報告書の Call Number と Title を表 1 に列挙した。Call Number がわかれば、請求は簡単にできる。池上重康、砂本文彦「資料紹介 京城高等工業学校鉱山学科・京城鉱山

専門学校採鉱学科実習報告書目録」(『エネルギー史研究』, 2010年3月, 25号)にもリストが掲載されているので、あわせて参照願いたい。また実習報告書についても詳しい説明がなされている。北海道大学工学部の池上重康グループの調査では所在不明の実習報告書を探すことができたし、2冊が一つのセットになっているのもあった。また一人がそれぞれ異なる鉱山で実習報告書を作成しているケースもあった。1冊に二つの実習報告書が製本されているケースもあった。

一度に5冊出納可能で、資料請求は5冊以上してもカウンターで用意してくれる。デジタルカメラで撮影も大丈夫である。許可申請は不要であるが、スタッフに一声かけ、撮影するのがいいだろう。フラッシュは不可であるが、デジタルカメラ撮影のための蛍光灯がなく、影がどうしても出来る。撮影の時に光の入り具合を工夫する必要がある。影が案外強く出るので、この点は注意されたい。

### 3. ランチの取り方

Cafeteria Jahayeon チャハヨン (Seoul National University Coop) が徒歩5分である。ここでランチを取るのがいい。Caféに向かって左に突き抜けると、小さな池(チャハヨン)があり、四つ角を左下に曲がる。100メートルほど下り、右側に折れ、ビルの吹き抜けを抜けると、正面が Cafeteria Jahayeon である。やや高級な上の階のレストランとセルフサービスの食堂がある。レストランでは各曜日の定食 Today's Special が 8000~10000 ウォンで提供されており、迷ったらこれを注文するのがおすすめである。(写真 10: Today's Special)

テーブルまで注文に来てくれ、お茶も出してくれる。支払い食後カウンターで支払う。下の食堂では定食 4000~5000 ウォンが二種類あり、自販機で食券を購入する。2つの中から選ぶようになっている。入金するとおつりが出てくる。プラスチックのおぼんを手に持ち、並んで受け取るやり方で、日本の大学の学生食堂と同じやり方である。キムチは別に置いてある。





写真 10 メニュー表 (Today's Special)



写真 11 Café

食後返却して、それからコップで水を飲んだり、口を濯いだりするようだ。これはキムチのにおいを消すためであろう。韓国らしいと感じる。ソウル大学の生協の営業するレストランは、[www.snuco.com](http://www.snuco.com) に紹介されている。ハングルは、Google 翻訳ソフトを使い、営業時間やメニューをある程度確認できる。

図書館の入口のところにも軽食スナック Café の店舗がある。サンドウィッチ、マフィンやコーヒーなどが注文できる。ポカリとコーヒーの自動販売機も近くにあり、飲み物は 700 ウォン、600 ウォンで購入できる。キャッシュコーナーもある。バス乗り場から図書館に上がるところにも学生会館内にも食堂（写真 2 の

右側の位置）があるが、ここには入らなかった

#### 4. 実習報告書

京城工業専門学校鉦山科（1916 年創立）、京城高等工業学校鉦山学科（1922 年改称）、京城鉦山専門学校採鉦学科（1939 年改称）の学生の実習報告書である。池上・砂本によれば、京城帝国大学理学部の実習報告書は確認できないつまり所蔵されていないとのことである。

「昭和 14 年度鉦山専門学校設立セラレ高等工業鉦山科ハ永久ニ跡ヲ断チ我々新(ママ)級三年生ハ新設サレタ鉦山専門学校鉦山科トシテ三学年ノ席ヲ得ル事トナツタ」と、孫秉讚『樂山鉦山報告書』（昭和 14 年）と実習報告書の中で記しているが、同図書館の書誌情報では「京城高等工業学校」となっている。孫秉讚は 20 日間の実習期間中に同校の先輩から説明を受け、情報もらい、実習報告書を書き上げた。先輩のおかげで、野球なども行っている。

実習報告書は、個々で記載内容は異なるが、採掘技術に力点を置いているが、労務関係の賃金データや労働時間などの記述もなされている。少ないが、労働者の移動状況の記述やある。また地域の教育程度や宗教などにも触れている。日本では坑内労働は 16 歳以上であるが、朝鮮では坑内労働が 14 歳以上であることもわかる。総じて生産高や採掘方法や生産技術は詳しく記述されている。気候も記され、地図なども添付されている。朝鮮の金属鉦山や炭鉦が多いが、撫順炭鉦や日本の鉦山での実習報告も所蔵されている。実習期間は 2 週間から 3 週間で 20 日間と書かれているものが多い。実習報告書の中で、詳細な賃金データがあるのが、沈賢鍾『元灘炭坑実習報告書』（昭和 16 年）である。優れた報告書である。上鶴美明『倒流水鉦業所実習報告書』（熱河鉦業開発株式会社、昭和 16 年）には把頭と「半飯場」の違いなどが書かれ、労務者の募集の難しさが記述されている。日本との比較があり、面白い。内地同様に、半島でも労働者の移動が頻繁であったこともわかる。

#### 5. ホテルについて

ホテルであるが、Expedia のサイトで探すのが簡明である。地下鉄 2 号線一本で行ける弘大入口駅から江南地区の三成駅の間で探すのがよい。仁川（インチョン）国際空港から電車で一本の弘大入口駅周辺か、仁川国際空港からリムジンバスが出ている COEX の江南地区のホテルに投宿するのがいいだろう。帰りに手ぶら空港まで行くことを考えるなら、江南地区の CALT・COEX 近くのホテルをすすめたい。CALT に朝

行き荷物を預け、大きな荷物を持たずに調査し、帰りはそのまま日本の空港で受取ればいい。ソウル大入校の入る手前のロータリーからインチョン国際空港行きバスもある。地下鉄弘大入口まで行き、空港鉄道で仁川国際空港に向かうという行き方もある。

### 謝辞

落星岱（ナクソンデ）経済研究所研究員李宇衍氏，北海道大学工学部助教池上重康氏，九州大学附属図書館 eリソースサービス室兵藤健志氏に直接ご教示いただいた。記して感謝したい。



本著作の著作権は著者に帰属します。注があるものを除いて、本著作の内容物はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際 (CC BY-NC-ND 4.0) ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

表 1 : 実習報告の請求番号、実習者、実習鉱山名、年次

622.072 T138m	大塚茂	三井山野鉱業所報告書	1928	
大 622.072 N1462s	中川善太郎	佐渡鉱山実習報告書	1941	
大 622.072 K131m	金谷宗清	三井系三成鉱山本坑報告書	1940	
大 622.072 K123b	灰田三郎	別子銅山実習報告文	1941	
大 622.072 N634s	西国弘	住友高原鉱山調査報告書	1941	
622.072 Y95m	結城松雄	三菱生野鉱山報告書	1938	
大 622.072 T787b	都合守俊	無極鉱山報告書	1942	
大 622.072 T573k	徳山盛一	洪川金山報告書	1942	
大 622.072 T1398k	竹山春彦	咸安鉱山報告書	1942	
大 622.072 K1791s	河村弘造	三和鉄山現況調査報告書	1943	移動
大 622.072 M6998s	水野光茂	三神炭坑報告書	1943	賃金 年齢 14 歳
大 622.072 F9553k	藤井政男	紀州鉱山報告書	1941	和歌山県
大 622.072 Sh624b	島崎庄平	撫順炭鉱老萬大斜坑実習報告書	1942	
622.072 G419b	金興鉉	撫順炭鉱東郷坑採炭所報告書	1939	
622.072 K139b	完戸馨	撫順炭 광 東郷採炭報告	1936	労務関係記述なし
622.072 F9556b	福田正三	撫順炭鉱東郷採炭所実習報告書	1933	
622.14 Owlc	大和田俊雄	守南浦精錬所報告書	1928	
622.072 G425m	金相殷	青岩鉱山報告書	1938	
622.076 Is36e	石川武	永興鉱業所報告書	1934	
622.342 J568e	趙興植	永中金山報告書	1936	住友系列 面白い
大 669.14 M588c	三好十六	鎮南浦精錬所報告書	1919	
大 622.072 K128s	上鶴美明	三陟炭鉱実習報告書	1941	
大 622.072 K128s	上鶴美明	流水鉱業所実習報告書	1941	把头と飯場との比較
大 622.072 Ue5s	上野忠之	三陟炭鉱報告書	1941	賃金データ
大 622.072 K968s	松谷清	遂安鉱山実習報告書	1941	

註：主に第二次世界大戦中の実習報告書を中心に閲覧した。